

## 共通の課題に立ち向かう

オープンソースは透明性、包括性、そしてコミュニティドリブンな基本原則とし、人類の集合知の基盤として繁栄します。



オープンソースのレジリエンスを維持するためには、サイバーセキュリティ、人工知能(AI)、テクノナショナリズムなど共通の課題に取り組むために、コミュニティ全体のコミットメントが求められます。



オープンソースソフトウェア(OSS)のセキュリティは、潤沢なサイバーセキュリティ専門人材とのつながりや、メンテナーを惹きつけ、維持することができるインセンティブの構造に密接に関係します。



オープンソースコミュニティはアプリケーション設計の基盤にセキュリティを据えた「セキュリティバイデフォルト」モデルを受け入れる必要があります。

OSSの採用が増加するにつれ、規制に対する監視の目が厳しくなります。新たな規制をオープンソースの原則と実践に適合させるためには、政策提言と教育が不可欠です。



オープンソースファウンデーションは、法的な洞察力、コミュニケーション能力、コミュニティの関係性を深める能力を駆使して、政策の場で効果的な主張を行わなければなりません。

デジタル主権重視が断片化を増加させ、規制の調和を阻害する可能性があります。しかし、技術的な自律性を促進する各国の取り組みが、オープンソースの採用拡大につながっています。



ファウンデーションは、コミュニティへの貢献を管理し、国境を越えた知識や技術の流れを維持するための中立的なプロトコルを確立することで、地政学的な緊張を緩和することができます。

コミュニティは、ダイバーシティ&インクルージョンにコミットし、行動規範を利用して共通の基準を推進することで、新たな人材を惹きつけ、社会的インパクトを最大化することができます。



説明できることとその成り立ちは、AIシステムの信頼性を高め、ライセンス、セキュリティ、ガバナンスの懸念に対処する上で極めて重要です。



透明性とオープンであることは、ますます強くなり普及するAIシステムに関する、新たなリスクと倫理的な配慮を管理する上で中心的な要素です。



より大きなコラボレーションのためのモデルとして、オープンソースを管理する新しいグローバルな事務局や、OSSコミュニティのリーダーたちのピアツーピアのネットワークなどがあります。

